



上川管内版 家庭教育サポート企業通信

233者(R6. 3月13日現在) 令和6年(2024年)3月 第16号

※企業だけでなく NPO 法人等の団体を含むため、「社」ではなく「者」としています。

『令和6年度能登半島地震応援東神楽大学チャリティーバザーについて』

先日締結を結んだ「株式会社 AgriInnovationDesign」が3月20日(水)に『食べて買ってSDGsで北陸を応援!』をテーマに上記事業を実施しました。今号ではその様子と、代表取締役の脇坂さんの思いや願いなどを紹介させていただきます。

東神楽大学では、令和6年3月20日(水)に、標記事業を開催しました。これは、「令和6年能登半島地震」の被災地応援イベントとして企画されたもので、イベントの売り上げの一部を各種団体を通じて寄付されます。

会場では、石川県や富山県などの農産物や加工品などを販売するブースや、チャリティマーケット、キッチンカーなどのコーナーがあり、訪れた人々を盛り上げていました。

また、大雪消防組合東消防署による「親子で知ろう!防災教室」や、東神楽町内の読み聞かせ団体による絵本の読み聞かせなども開かれ、多様な学びの場にもなっていました。



○株式会社AgriInnovationDesignについて

【設立】2011年6月14日 【資本金】5万円

【主な事業】

- ①マルシェ事業(マルシェのプロデュースや運営)
・都内を中心に5会場・年200日間開催。
- ②地方創生事業(地方自治体が抱える課題を解消すべく様々なプロデュースを展開)
・東神楽町では廃校を活用した複合施設東神楽大学を拠点に商社事業なども実施。
- ③農業支援事業(事業者成長へ向けたセミナーやコンサルティング業務を実施)



【代表取締役脇坂さんの思いや願い】

- 会社も含めたビジョンとして「小学生のなりたい職業1位を農業へ」を掲げています。
- 日本の豊かな気候風土と、そこから生まれる農産物の魅力や価値、そこで働く農家の方々への憧れ等を、マルシェやイベントを通じて「美味しい食の根幹は農家の作る農産物から生まれている」を知ってもらいたいと考えています。
- 地方創生のきっかけづくりとして、地域住民等に場所を提供しており、本協定・事業が、多くの子どもたちにとってまだ見ぬ世界とのきっかけとなり、将来への希望や夢につながっていけば嬉しいです。



北海道
教育委員会

【連絡先・担当】

北海道教育庁上川教育局社会教育指導班 田阪、石川
〒079-8612 旭川市永山6条19丁目1番1号
TEL 0166-46-4953(直通) FAX 0166-46-5242
E-mail ishikawa.kiwamu@pref.hokkaido.lg.jp

上川管内版家庭教育
サポート企業通信

